

## 新時代の展望

新年度と共に平成から令和への新しい時代の幕明けとなりました。法政大学工体連OB会の皆様には平素より会の発展と学生への援助にご尽力頂き、誠にありがとうございます。

4月は各部とも新入生の勧誘に奔走された事と思います。例年、多数の学生が入部する団体が多い中、思うように勧誘が出来ず、部員不足に悩んでいる団体もあるのが実情です。

大学の体制により、部員勧誘の期間が4月の第一週に限られており、短期間で多くの部員を確保するのは容易な事ではありません。運動と学業を両立させる文武一体の精神は工体連のモットーであり、有意義な4年間を過ごすためにも工体連の存在が重要である事を新入生に伝えて頂きたいと思います。

さて、工体連OB会の活動も徐々にではありますが発展をしています。理事会のメンバーも少しずつ若返り、年間行事も増えてきました。特に一昨年よりスタートした駅伝大会はかつて小金井市内にて各部対抗で開催していた恒例行事でした。しかし、安全上の問題で一般道路を使用することが出来なくなり、いつの日にか消滅してしまいましたが小金井公園内にて陸上競技部のサポートにより再開する事が出来ました。陸上競技部は現在、50名程度の部員が在籍し、活発に活動しており、その協力には感謝に尽きません。参加チームは少ないですが、OB・OGと学生の混合で楽しい一日を過ごしています。今年も学祭期間中に開催予定でバーベキューによる親睦会も企画しています。参加チームを増やし、今後益々の発展を期待したいと思います。また、理事会の親睦行事として忘年会が追加されました。スキー部中尾様のご協力を得て、中尾建設ショールームにて開催しますが、一年の労を労うための、楽しい会になりそうです。

このようにOB会の活動も徐々に活発化していますが、残念な事もあります。学祭中に開催されるホームカミングデーに工体連OB会として参加していますが、昨年より学祭中の飲酒は許可を得た会合のみになってしまいました。久しぶりに大学を訪れ、後輩達と酒を飲みながら学生時代を懐かしむ機会が徐々に減少しつつあります。近年、学生の飲酒問題が多発し、大学も飲酒に対して非常にナーバスになっているのが現状です。時代の変化として捉えるには心が痛む思いです。工体連の学生は飲酒に関しては昔からしっかり管理されていましたが、大学全体として対応せざる得ないのはしかたがないのかも知れません。このままでは大学時代を懐かしんで大学を訪れるOB・OGの皆様がどんどん減ってしまいそうです。工体連OB会として何か対策が必要かも知れません。

「工体連」は現在、法政大学学友会に属する一団体として登録、また、「工体連OB会」は校友会パートナー組織の一団体として登録されています。終身会員40名に対し1名の評議委員を選出することが出来ます。現在、1名の評議委員を選出していますが、大学への要望を強めるために終身会員の増員を図ると共に評議委員の増員が必要です。各部OBの皆様で終身会員未登録の方、また2013年度、2014年度卒業の皆様には登録を学年同窓会から工体連OB会に変更手続きをお願いしたいと思います。工体連OB会の主目的である学生への援助と工体連各部OBの親睦をより強力なものにするためにも皆様のご協力が必要なのです。最後に工体連OB会は来年度創立40周年を迎えます。30周年と同様に多くの皆様に参加して頂ける盛大な式典を計画したいと思います。各部OB会の皆様にはご協力をお願いする事になると思いますのでよろしくお願い致します。